

### CO・OP共済《あいふらす》商品改定の主なあゆみ

| 改定時期    | 主な商品改定の内容   |
|---------|---|
| 2000年9月 | 《あいふらす》誕生！（生命保障限度額1,000万円、入院日額限度額10,000円）   |
| 2002年1月 | ゴールド80実施、《たすけあい》65歳満期者のゴールド80への移行開始   |
| 2003年6月 | 割戻金の実現  |
| 2003年9月 | 生命保障2,000万円のコースの新設<br>共済期間15年のゴールド80の新設   |
| 2004年9月 | 入院日額10,000円のコースの新設<br>生命保障1,500万円のコースの新設<br>加入時の健康診断書提出基準の改定<br>加入時の健康診断書料費用補助金額の改定   |
| 2005年9月 | がん特約の新設<br>「生命300万円コースがん特約付帯プラン」「生命100万円コースがん特約付帯プラン（2006年に募集停止）」の新設<br>告知事項の改定（がん特約新設による質問項目の追加）<br>加入引受基準の緩和<br>手術共済金の改定              |
| 2006年9月 | 共済掛金の引き下げの実施<br>保障年齢の85歳への延長<br>85歳まで保障を継続できる「ゴールド85」の新設<br>加入引受基準の緩和<br>病気入院共済金を「1日目からの保障」へ改善<br>発効日前の保障の改善<br>65歳以上の方の期中での割戻金のお支払いの実施 |
| 2008年9月 | 健康診断書による引受範囲の拡大<br>子宮筋腫に関する条件付加入の範囲拡大<br>更改した場合の割戻金支払方法の変更<br>期中での割戻金のお支払いの実施   |
| 2009年9月 | ゴールド80医療型の実施<br>初回掛金未収時における取扱いの変更<br>更新・更改時における危険職業、制限職業の加入限度額の変更   |
| 2010年9月 | 共済期間中の払込方法の変更対応の実施 ※2010年6月～<br>保険法改正に伴う規約・細則の変更<br>代理請求制度の整備   |
| 2011年9月 | 妊娠分娩による条件付加入制度の免責期間を2年から1年へ変更<br>《ずっとあい》の開始にともなう商品合算の加入限度額の設定   |

| 改定時期    | 主な商品改定の内容   |
|---------|---|
| 2013年9月 | 生命保障2,500万円、3,000万円のコースの新設<br>がん治療共済金付がん特約（新がん特約）の新設<br>共済掛金の改定の実施<br>疾病入院共済金、災害入院共済金、がん通院共済金の支払通算限度日数を1,000日に拡大<br>満70歳で契約する場合の共済期間を10年から15年に変更<br>共済期間20年のゴールド85の新設<br>指定代理請求人制度の導入<br>悪性新生物とみなす傷病の追加 |
| 2014年9月 | 反社会的勢力対応のための規定の新設<br>指定代理請求における共済金受取口座について、一定条件を満たす場合には指定代理請求人名義の口座の指定も可能に（2014年7月の請求受付分より）   |
| 2015年9月 | 加入引受基準の緩和<br>①特定病気加入制度の導入<br>高血圧・脂肪肝によって告知事項に該当する場合でも、所定の基準を満たす場合には加入可能に<br>②妊娠についての加入引受基準緩和<br>妊娠中であっても、正常に経過している場合には共済金お支払い時の条件なく、加入可能に   |
| 2016年9月 | 加入引受基準の見直し<br>《たすけあい》先進医療特約の新設等に伴い、告知事項・軽度の傷病・条件付加入制度・特定病気加入制度を整理   |
| 2017年9月 | 《あいふらす》プラチナ85の新設<br>《あいふらす》ゴールド85医療型の募集停止<br>個人賠償責任保険の付帯範囲をプラチナ85、ゴールド85・80に拡大  |
| 2018年9月 | 《あいふらす》プラチナ85にも先進医療特約を付帯できるように取扱いを拡大<br>個人賠償責任保険の保障開始日を「初回保険料振替日の翌月1日」から「初回保険料振替日の翌日」に変更  |
| 2019年9月 | 特定病気加入制度に「脂質異常症・高脂血症」を追加<br>健康診断書提出基準の緩和<br>59歳以下の場合でも、生命300万円コースの単独加入を可能に  |
| 2020年9月 | 個人賠償責任保険の改定<br>個人賠償責任保険の対象に電車遅延等による損害賠償を追加<br>住宅に起因する事故の対象となる住宅の範囲を「記名被保険者の住宅」から「被保険者の住宅」に拡大  |

|            |   |
|------------|---|
| 2022 年 9 月 | <p>手術共済金の放射線照射に関する支払基準の変更<br/>2022 年 9 月 1 日以降に受けた手術から放射線照射における「5,000 ラド (50 グレイ) 以上の照射」という支払基準を廃止</p> <p>疾病入院共済金の 1 回とみなす再入院の取扱いの変更</p> <p>① 前回入院した原因と同一疾病で 180 日以内に再入院した場合でも、1 回の入院の支払限度日数まで支払った入院の退院日翌日から 180 日を経過して開始した入院については、新規入院として取り扱うよう変更</p> <p>② 削減に関しては、申込日から 1 年が経過した後に開始した入院であれば、それ以前の入院と同一疾病で 180 日以内に開始した入院であっても、削減対象としない取扱いに変更</p> |
| 2023 年 9 月 | <p>2023 年 9 月</p> <p>条件付加入制度の見直し・特定疾病加入制度の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜんそくに関する条件付加入制度の改善（特定疾病加入制度に変更）</li> <li>・特定疾病加入制度「肝機能障害」の追加</li> <li>・特定疾病加入制度「脂質異常症・高脂血症」の加入引受基準緩和</li> </ul> <p>個人賠償責任保険の改定</p> <p>(1) 保障範囲の拡大（受託物保障の追加）</p> <p>(2) 月額保険料を 140 円から 160 円に引き上げ</p> <p>(3) 同性パートナーを配偶者として被保険者の範囲に含める変更</p>                |
| 2024 年 9 月 | <p>条件付加入制度に「不妊治療」（不妊症）を追加</p> <p>ご契約のしおりの WEB 閲覧化（満 64 歳以下の契約者を対象）</p>  |